

【禁忌・禁止】

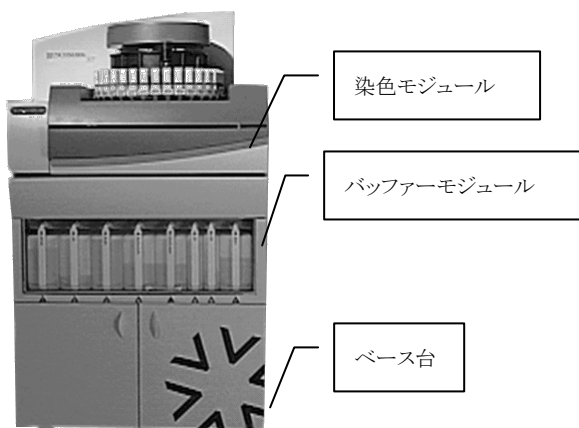
1. この装置は防爆型ではないので、装置の近くで可燃性及び爆発性の気体を使用しないこと。
2. 検査を開始する前に、装置に異常がないこと、構成品、付属品が確実にセットされていることを確認する。
3. 傾斜のある場所では、装置が転倒する恐れがあるため使用や保管は避ける。
4. 本装置を移動する場合は、電源スイッチを切ってから行うこと。
5. 直射日光が当たる場所や吹出口の真下への設置は避ける。
6. 熱や蒸気の発生源となるものは、近くに置かない。

詳細な使用上の注意は、取扱説明書を参照する。

**【形状・構造及び原理等】

1. 構造

本体は、染色モジュール、バッファーモジュール、ベース台部分が一体型の装置です。また、パソコン、カラーモニター、キーボード、マウス及び E-Bar ラベルプリンターと一緒に使用します。



2. 外形寸法・質量

(1) 本体

外形寸法: 88.9 cm(幅)×66.0 cm(奥行き)×153.0 cm(高さ)

質量: 175 kg

(2) コントロールシステム

(一般的なラックを使用した場合)

外形寸法: 60 cm(幅)×68 cm(奥行き)×150 cm(高さ)

質量: 総計 約 15 kg

3. 電流電圧・消費電力

(1) 本体

定格電圧: AC100~120V

周波数: 50/60Hz

定格電流: 6A/モジュール

(2) コントロールシステム

(仕様は変更される場合があります)

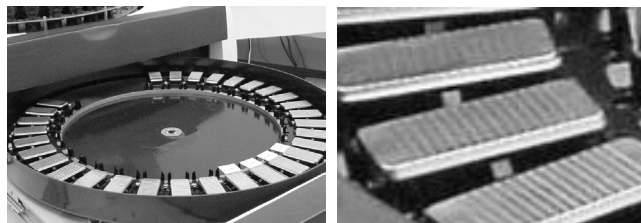
定格電圧: AC100~120V

周波数: 50/60Hz

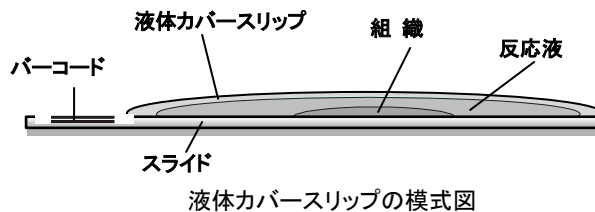
定格電流: 6A

4. 作動・動作原理

- (1) スライドヒーター(スライドの温度管理):染色モジュール内に30個のスライドヒーターが搭載されています。処理温度設定範囲は37℃~100℃(抗原賦活化では95℃あるいは100℃)です。30個のスライドヒーターは個別管理であるため、それぞれ異なったプロトコルをランダムアクセスでRUNすることが可能です。



- (2) 液体カバースリップ(反応液の蒸発防止):免疫染色中は、通常、スライドヒーターを37℃に保ち反応させています。このときに、スライド上の反応液を液体カバースリップで被膜をつくりカバーします。その結果、組織の乾燥や反応液の蒸発を防ぐと共に、スライド表面の温度を一定に保つことができます。



- (3) エアーナイフ(ダムの役割):スライドバーコード上の余分な水分をエアーによって吹き飛ばします。その結果、スライド上から反応液、液体カバースリップが流れ出さないようにスライドバーコードにダムの役割をあたえます。



- (4) ベンタナ・エアミキサー(反応液の攪拌):液体カバースリップで反応液を覆うことによって、エアーを吹きつけ反応液を攪拌することが可能です。攪拌効果は、均一な温度分布、抗体分布を得ることができ、染色ムラの防止、反応時間の短縮、高希釈倍率の試薬・抗体を使用することが可能です。



- (5) ジェット・スライド・ウォッシャー:スライドの洗浄に用います。上下2段の位置から交互に、シャワー状に洗浄液を噴射して、優しく、切片が剥がれないように、少量の洗浄液で効率良く洗浄します。

【使用目的又は効果】

病理検査の組織標本や細胞診、血液検査等の標本を作製する装置をいう。染色を行う装置又は塗抹のみを行う装置を含む。

【使用方法等】

詳細については、取扱説明書を参照してください。

1. 必要なバッファー類が、十分量ボトルに充填されていることを確認します。
2. 必要な試薬を装置の試薬トレイにセットします。
3. スライドトレイにバーコードラベルを貼ったスライドをセットします。
4. 試薬トレイを装置にセットし、モニター画面上の RUN ボタンをクリックし、スライド枚数等の必要な情報を入力し、RUN を開始します。
5. RUN 終了後、スライドを装置から取りだし、通常の方法により、脱水・透徹を行ったのち、光学顕微鏡等により鏡検を行います。

【使用上の注意】

1. 本品の使用については、特に認められているもの以外については、専用の試薬を使用してください。
2. 専用試薬以外の試薬を使った場合、性能が保証できないことがあります。
3. 装置に試薬、スライドなどをセットする場合は、清潔な手袋等を着用してください。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

温度:20～32℃

(装置が、適切な温度範囲外の環境におかれると正しく動作しないことがあります。)

湿度:10～90%

2. 耐用期間

通常の使用、稼働状況において、取扱説明書で定めた定期的な保守・点検、保守部品の交換を実施、更にその点検結果により必要な修理又は保全措置を行った場合の耐用期間:使用開始(据付け)後7年です。〔自己認証による〕

**【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

適正な結果を得るために、本品の使用前、使用後、月に1度及び3ヶ月に1度定期的にメンテナンスを行ってください。

メンテナンスの項目及び方法については、取扱説明書又はカスタマーサポートセンターまでお問い合わせ下さい。

2. 業者による保守点検事項

適正な結果を得るために、1年に1回程度を目安に業者の保守点検を行ってください。詳細については、カスタマーサポートセンターまでお問い合わせ下さい。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売: ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

連絡先: ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

カスタマーサポートセンター

TEL:0120-600-152



ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

* Ventana is a trademark of Roche.
Ventana は Roche の商標です。

0 5452708 001-D